



2019.6.14
第169号

教師としての生き方



会津教育事務所

所長 近藤 静雄

今から十年以上も前のことです。ある小学校から授業の指導助言の依頼を受けました。

当日、学校にお邪魔しますと、研究公開でもないのに、かなり多くの先生方が集まっておりました。授業者はベテランの女性の先生。授業が始まる前から遊びを取り入れ、自然に授業に入っていました。先生はさりっとした表情で、生き生きと授業を進めていきます。児童もそれに応えるかのように、真剣なまなざしで一生懸命に学んでいます。グループ活動を取り入れても、しっかりと学び合いが

成立していることから、日頃の生徒指導の充実ぶりを感じました。授業スタイルは決して新しくはありませんでしたが、子ども達は確実に理解を深めていきます。終了のチャイムが鳴ると、先生は、にこっと笑って子ども達を褒め、子ども達も目を輝かせながらにっこり。

事後研究会の自評で、先生は次のように話されました。「これまで自分が研究してきたことの集大成として、本日の授業をやらせていただきました。まだまだ未熟なところはあったかと思いますが、若い先生方に

発行
村会会
町員議支会
市協議津支
県委協麻沼
島育絡会
福教連北耶両

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

少しでも参考になれば幸いです。

私は今年で定年退職です。これまでたくさんの方を勉強させていただき、本当にありがとうございました。参加者から自然に拍手が沸きあがり、中には涙を流す先生もおりました。私も胸が熱くなり、指導助言者であるにもかかわらず、授業を参観させていただいたことへの感謝の気持ちを述べるのが精一杯でした。この先生は、毎年、自ら授業を提供されてきたそうです。

この先生の教師としての生き方にたくさんの方の事を学ばせていただきました。教師として学び続けること、ベテランとして後輩に範を示すこと、謙虚さ、子ども達のために決して手を抜かないこと等々…。自らを振り返り、まだまだの自分に焦りを感じている今日この頃です。

管理関係重点事項

管理業務においては、『会津教育事務所 経営・運営ビジョン』に示したとおり、「豊かな教育環境の形成」を基本目標に掲げ、次の四つの重点事項に取り組んでまいります。

1 透明性が高い、開かれた教育の推進

所長・管理訪問や諸会議を通じて、市町村教育委員会及び学校と情報交換を行い、互いに連携を密にし、人事管理や人事事務の適正化に努めます。

2 教職員が子どもと向き合える環境の整備

教職員の勤務の適正化と負担軽減、多忙化解消が問題視されていることから、『教職員多忙化解消アクションプラン』を推進します。

3 教職員の資質の向上

最近是新採用と再任用が増え、若手とベテランの割合が高くなる一方、ミドルリーダーの育成が急務となっています。魅力的な研修や各種派遣事業を周知し、積極的に参加を呼びかけます。

4 安全で安心できる学習環境の整備

教育活動を停滞させる学校事故や教職員の不祥事を未然に防止するため、先進的な事例を紹介するなど、各種研修会のあり方を工夫します。

特に、「多忙化解消」を最重点と捉え、その啓発に努めてまいります。域内には、学年や校務ごとに多忙化解消の具体事項と削減目標を掲げ、職員が一丸となって取り組む学校があります。このように、主体的・組織的に多忙化解消に取り組むことが求められています。

社会教育関係重点事項

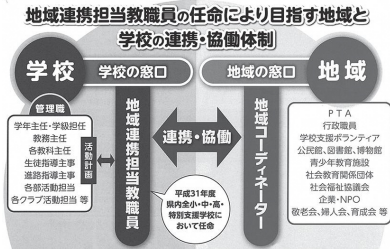


【重点1】子どもたちの豊かな心をはぐくみます

- (1) 『「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業』
 - 復興に寄与する社会体験活動に取り組むことを通して、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図る。
- (2) 『ふくしまの未来をひらく読書のプロジェクト』
 - 学校・家庭・地域が連携して、乳幼児期から思春期に至る切れ目のない読書活動を推進し、生涯にわたる読書習慣の形成と子どもたちの豊かな心や生きる力の育成を図る。
 - ア 読書活動支援者育成事業
 - 地区別研修会（会津域内において2回開催）
 - ※ ビブリオバトル県大会地区予選会とのタイアップ
 - イ 発達段階に応じた読書活動の推進事業（仮称）
 - ウ 情報発信プロジェクト（中、高校生によるビブリオバトル）

【重点2】地域全体で子どもたちを教育てる取組を支援します

- (1) 『地域学校協働本部事業』
 - ア 地域学校協働活動事業（県内8つの中学校区で実施）
 - 学校と地域住民等との連携協力体制づくりを促進する。
 - イ 放課後子ども教室事業（10市町村で実施）
 - 地域住民の参画を得て放課後等の活動拠点をつくる。
 - ウ 学校支援事業（5市町村で実施）
 - 地域コミュニティの活性化と地域の教育力向上を図る。
 - エ 学校・家庭・地域連携サポート事業
 - 地域学校協働研修会（域内で1回開催）
 - 地域連携担当教職員等研修会（域内で1回開催）



【重点3】家庭における教育を支援します

- (1) 『地域でつながる家庭教育応援事業』
 - ア 「家庭教育応援プロジェクト」
 - 地域家庭教育推進会津地区ブロック会議（6月・1月）
 - 地域の課題について、学校、地域、企業等と連携しながら家庭における実践につなげる。
 - ※ 会津地区のテーマは「メディアコントロールの推進」
 - 親子の学び応援講座
 - P T A と連携し、親の学び・家庭での実践活動を支援する。
 - 家庭教育応援企業推進活動
 - 家庭教育の推進に取り組む企業を募集し、企業と連携し、地域の家庭教育を推進する。
 - イ 「家庭教育応援リーダー育成事業」
 - 家庭教育支援者全県研修（6～7月 実施予定）
 - 家庭教育支援者地区別研修（会津域内で1回開催）
- (2) 『ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業』
 - 子どもと大人あるいは子ども同士のペアで、自然・社会体験活動などの共通体験を通して、お互いが感じた思いや願い、震災体験、復興・復旧への思い等を作品にする。（応募期間：6～8月）

【重点4】自然に親しみ自然を尊重する心をはぐくみます

- (1) 『「ふくしまの心」を育む自然体験応援事業』
 - 東日本大震災時の自然体験の不足や体力低下等を補うため、充実した自然体験活動等へ取り組み、心身ともに健康な子どもの育成を図る。
 - ア 小・中学校等の自然体験活動への補助
 - イ 幼稚園・保育園等の自然体験活動への補助
 - ウ 小・中学生を対象とした社会教育団体の長期宿泊型自然体験活動への補助

令和元年度会津教育事務所指導の重点（前期）

「分かった」「できた」が実感できる授業づくり

◎視点1：授業の質的向上

「ねらい」と「まとめ」の整合性

〈ねらいを明確にする〉

- 子どもの学習履歴やつまずきの原因を把握する。
- 単元全体や本時で身に付けさせたい力を明確にする。
- 本時のねらいが達成された具体的な子どもの姿をイメージする。

〈まとめ・振り返りを工夫する〉

- 自分の言葉でまとめる時間を確保する。（学習内容、学習方法、新たな学び）
- 「まとめ」を「めあて」と正対する内容にする。
- 学習した知識・技能を活用する活動を設定する。（適用問題等への取組）

- 本時に身に付けさせたいことをまとめているか？
- ねらいに合った適用問題等に取り組んでいるか？
- ねらいとまとめの観点別評価がずれていないか？

◎視点2：家庭学習の充実

学習習慣や生活習慣の確立

〈授業と家庭学習をつなげる〉

- 授業で学習した内容の定着や活用を図るための家庭学習について指導する。
- 学習内容に応じて、宿題（復習、予習）を効果的に活用した授業に努める。

安心感のある学級づくり

〈特別活動〉

- 一人一人が成就感を持てる自主的・実践的な活動を大事にする。
- 一人一人に役割を持たせ、認め、称賛する。

〈道徳教育〉

- 読み取りから脱却し、自分のこととして考える授業を実践する。
- 他者の意見を基に、様々な視点から考える場を設定する。

〈いじめの防止〉

- 早期発見、早期解決に努める。（積極的ないじめの認知）
- 教職員が連携し合って、様々な立場から子どもを見守る。

〈不登校の予防〉

- 早期発見、早期対応に努める。（最初の1週間がカギ）
- 困っている子どもをチームで支援する。

※「授業づくり」を支えるのは「学級づくり」



「2年目を迎えて」

湯川村教育委員会教育長 五十嵐 長孝

「米と文化の里」湯川村に赴任して2年目を迎えた。

平成から令和にかけての10連休も無事に終わり、子どもたちが元気に学校に戻ってきた。湯川の色は大地の色と言われているが、今田植えが終わり、間もなく緑色の絨毯に覆われるようになる。1年中で最も美しい季節を迎える。楽しみである。

4月28日には勝常念佛踊りが行われ、多くの方が貴重な民俗芸能に触れる機会となった。その念佛踊りの演舞の中に勝常小学校の児童が多数、笛の演奏に参加し、見事な練習成果を発表、大きな拍手を浴びた。担い手の高齢化・後継者不足が叫ばれる中、大きな意義のある催しであり、地域と学校との連携・融合が進んでいる好例である。

湯川村を語る時、勝常寺は常にその中心にあり、村民

の精神的支柱であり、誇りである。それだけに笈川小学校の子どもたちにも参加させたいとの声が聞かれた。また歴史的価値の高い勝常寺に何らかの形で関わりたいという思いは、中学生にもあると思う。「オール湯川」で考えていきたい。

地域の方々に学校の教育活動に参加していただくこと、子どもたちにも地域の行事と一緒に地域学校協働活動に積極的に参加することを通して、よりよい人間性・社会性を培ってほしいと願っている。各小中学校には地域連携担当教員が配置され、教育委員会・公民館にも担当者を配置したので、それぞれが英知を出し合い、「地域と共にある学校」づくりに取り組みたい。できることは多いと思うので、何ができるか、どこまでが可能か求め合いたい。令和元年、2年目を迎えての大きな目標にしたい。そしてコミュニティ・スクールを目指していきたい。

我がまちからの情報発信

三島町教育委員会

三島町の雪まつりは「雪と火のまつり」



奥会津では毎年2月に各町村で雪まつりが催されています。三島町では昭和48年以来、「雪と火のまつり」という名称で開催し、平成31年には第47回を数えるまでになりました。当町のみ、何故名称に「火」があるのか、それは第1回の頃からサイノカミという五穀豊穡や無病息災、村中安全等を願う小正月に行われる火祭り行事を再現しているからです。

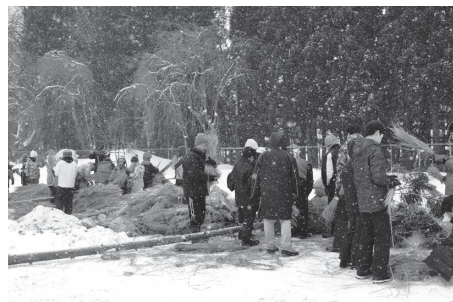
町では、昭和43年に『失なわれゆく民俗行事』という記録映像を8ミリフィルムで撮影したり、昭和58年には「地区プライド」と称し、各地区の誇りとして年中行事を取り上げたりするなど、サイノカミだけでなく、戦後、全国で急速に失われつつあった折々の行事を皆で保存・継承・活用していこうという動きが活発でした。

こういった取り組みにより昭和60年にはさまざまな行事が「三島町の年中行事」(旧名「三島町の初春行事」)として県の重要無形民俗文化財に、そのなかでもサイノカミは平成20年、「三島のサイノカミ」として国の重要無形民俗文化財に指定されています。

「雪と火のまつり」では各地区の年輩の方を先生として、三島町の小中学生だけでなく、近年は交流のあるいわき市四倉の小学生もサイノカミづくりに挑戦します。その他、当日は「団子さし」や「鳥追い」といった年中行事も体験してもらっています。

本イベントは観光振興であるとともに、当町で行事を行わない(行わなくなった)地区の子どもたち、そして浜通りの小学生にも、少なくとも江戸時代にまで遡ることのできる伝統的な行事に触れることのできる貴重な機会となっています。

今も当町で息づく年中行事をご覧に、折々の季節に、そして「雪と火のまつり」にお越しただければ幸いです。



県

第6次福島県総合教育計画（改定版）

基本理念 “ふくしまの和” で美である。こころ豊かなくまいるまい人づくり

基本目標① 知・徳・体のバランスのとれた、こころ豊かなくまいるまい人づくり

② 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

③ 豊かな教育環境の形成

【重視する観点】 頑張る学校応援プラン

強化戦略（主要施策1） 学力向上に責任を果たす

（主要施策2） 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

（主要施策3） 地域と共にある学校

（主要施策4） ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

（主要施策5） 学びのセーフティネットの構築

＜目標＞

会津の児童生徒の夢や希望の実現に向けて、県教育委員会施策を推進するとともに、各市町村・各学校における教育活動充実のための支援を行う。

【方針】

① 各市町村教育委員会や学校・関係機関等が抱える課題等を共有し、一層にわたって計画的・継続的な支援に努めます。

② 客観的なデータや情報の提供及び成果に結びつく適切な支援に努めます。

③ 各種事業の適正執行に資するため、域内の教育関係者・関係機関との連携を強化・促進します。

【基本目標①】 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

【子どもたちの豊かなこころの育成-1】 主要1.5

◎ 道徳教育全体計画別業等を活用した道徳教育の充実

（方策） ・各教科等における道徳教育との関連を明確にした別業の作成及び活用についての指導助言

・多様な指導方法の工夫等、授業改善を図る指導助言

・評定の観点や方法についての指導助言

◎ いじめ等の問題行動の未然防止と早期解決、問題行動発生時の的確な対応

（方策） ・学校いじめ防止基本方針を基にした、いじめの防止対策及び問題行動への組織的な対応についての指導助言

◎ 不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組等の推進

（方策） ・不登校対応資料Vol.1.5「豊かな学校生活のために」を活用・相談、支援体制の整備と学校訪問等による支援

◎ 学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立

（方策） ・新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程、教育活動の充実に向けた指導助言

・PDCAサイクルを明確にした学力向上プログラムデザイン

◎ 全職員の共通理解に基づいた確実な実践と改善に向けた指導

（方策） ・「授業スタンプカード」の実現に向けた授業改善指導助言

・「授業スタンプカード」を基盤とした授業実践の指導助言

・学びのスタンプカード・ポートフォリオ校、コアラーチャーター等による授業研究会や学力調査結果を生かした授業や研修会の工夫

◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり

（方策） ・学習習慣や生活習慣の確立への指導助言

【子どもたちの健やかな体の育成】 主要2.3.5

◎ 「体力向上」や「運動の習慣化」を図る授業や体育的活動の充実

（方策） ・児童生徒に運動の楽しさを味わわせ、体力向上を図る体育や保健体育の授業の推進

◎ 「ふくしまっ子食育指針」や「自分手帳」を活用した食育の充実

（方策） ・各校の食育全体計画に基づき食育の共通実践に向けた指導した健康教育の推進

◎ 「学校における肥満対応ガイドライン」や「自分手帳」を活用した健康教育の推進

（方策） ・肥満防止に向け家庭と連携した組織的な取組の推進

【地域で共に学び、共に生きる教育】の推進 主要5

◎ 全職員の連携・協働による組織的な校内支援体制の充実

（方策） ・一貫性や系統性のある支援体制づくりに向けた指導助言

◎ 一人一人のニーズに応じた指導や教育相談の充実

（方策） ・教員の専門性や指導力、相談技術の向上を図る校内研修等への支援

◎ 切れ目のない支援の実現に向けた、家庭・地域及び関係機関との連携強化

（方策） ・S・CやS・W・関係機関、特別支援学校のセンター的機能の積極的な活用への推進に向けた指導助言

【望ましい勤労観・職業観の育成】 主要1

◎ キャリア教育の組織的な推進と関係機関等との連携

（方策） ・キャリア教育の推進体制の確立と共通理解に立った指導の充実

・学校、家庭、地域社会や関係諸機関との連携の強化

【国際化の進展に対応できる人づくり】 主要1.4

◎ 外国語によるコミュニケーション能力（の素地）の育成

（方策） ・学習到達目標達成やふくしまの「授業スタンプカード」を視点とした授業参観及び指導助言

・外国語活動（外国語科）に関する指導力向上研修等の充実

◎ 高度情報化社会を主体的に生きていく力の育成 主要5

◎ 情報活用能力の育成と情報モラル教育の充実

（方策） ・情報教育の推進と工夫に向けた指導助言

【基本目標②】 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

【子どもたちの豊かなこころの育成-2】 主要3.4

◎ 読書活動の推進

（方策） ・子どもの読書活動を支えるボランティアの養成

・乳幼児から読書に慣れ親しむ読書活動の推進

◎ 子どもの復興体験活動の支援

（方策） ・チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業の推進

◎ 地域学校協働活動本部事業への支援

（方策） ・地域学校協働活動、学校支援事業、放課後子ども教室に係る各種事業の充実

◎ 学校、家庭、地域の連携、協働への支援

（方策） ・地域全体で教育活動を支援するコーディネート向けの研修の充実

◎ 福島県地域学校協働本部

（方策） 市町村本部、学校における地域学校協働推進委員会との連携

◎ 地域でつながる家庭教育の応援

（方策） ・家庭教育について保護者が学ぶ機会充実のための支援（親子の学び応援講座、家庭教育応援企業研修会等）

・地域家庭教育推進ネットワーク会議を通じた「家庭におけるメディアへの関わり方」をテーマとした取組の推進

◎ 「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の推進

（方策） ・HPや広報紙、各種研修会における周知及び啓発

<目標> □応募総数5,000点以上

【基本目標③】 豊かな教育環境の形成

【教職員の資質の向上】 主要2

◎ 人事評価の効果的な実施

（方策） ・人事評価を生かした学校経営の充実を図るための研修会の開催と指導助言

◎ 危機管理意識の高揚と不祥事の根絶

（方策） ・各種研修会における服務倫理委員会の活性化を促す効果的な取組の紹介

【安全で安心できる学習環境の整備】 主要5

◎ 児童生徒の安全確保と校内安全体制の整備推進

（方策） ・安全管理、安全教育に関する『学校安全計画』や『危機等発生時対応要領』を充実させた学校安全体制の整備促進

・地域や関係団体と連携した地域ぐるみの安全体制の整備促進

・情報モラル教育の充実やSNS被害等から児童生徒を守るための環境整備

【透明性が高い、開かれた教育の推進】 主要2

◎ 学校経営能力の向上

（方策） ・校長会議・教頭会議などにおけるより実践的な指導

◎ 学校評価の充実

（方策） ・学校評価の効果的な実施とその結果活用への指導

【教職員が子どもと向き合える環境の整備】 主要2

◎ 教職員の勤務の適正化と負担軽減の推進（多忙化解消）

（方策） ・取組事例集1～Ⅲを活用した勤務の適正化の推進

・各校における多忙化解消アクションプランの推進（重点項目の設定推進）

◎ 教職員の心身の健康保持

（方策） ・研修会の開催とメンタルヘルスクアの推進

【各種事業に係る適正執行の確保】 主要2

◎ 実効的な各種教育活動を支える予算措置

◎ 適正な事務執行に資する指導・助言

（方策） ・計画的な予算配分や事務の共同連携、事務指導会、年末調整審査会等を通じた実践的指導